

～もうすぐ1年生～



羽村西小学校入学式(平成17年)

平成18年度 教育委員会主要事務事業

～複合的テーマには、複眼的視点と 横断的体制で取り組みを推進します～

「教育とは、流水に文字を書くような果てない業である。だが、それを厳壁に刻むような真剣さで取り組まねばならぬ」との言葉があります。教育の世界は、憧れの世界です。子どもたちの魂を魅了する音楽家の演奏も「バイエル」のくり返しから始まり、偉大な画家の作品も、デッサンの厳しい訓練が基本だと言われます。子どもたちの精神形成や知的好奇心もそのなかからはぐくまれてくると考えます。

羽村の子どもたちは、自分自身や郷土に夢や希望を持って、汗を拭き拭き、一心不乱に励んでいます。教育委員会は、それに応える施策と事業を推進してまいります。



教育長
角野征大

① 家庭・地域の教育力の向上

近年、青少年の非行、家庭内暴力、不登校など、さまざまな問題が深刻化しており、これらへの対応が重要な課題となっています。一方、親の子どもに対する虐待なども社会問題化しています。

このような状況を解決するため、家庭・地域・学校の密接な連携による青少年育成と家庭・地域の教育力の向上に努めます。

事業名	予算
☆ 家庭教育セミナー開催	200千円
☆ 地域教育シンポジウムの開催	65千円
☆ 夢チャレンジセミナーの実施	400千円



家庭教育セミナー

② 学校教育の充実

児童・生徒が自ら課題を見つけ、学び、考え、判断する資質や能力を高める教育を推進するとともに、部活動や体験学習などを充実し、生きる力をはぐくみます。また、保護者や地域などの意見を学校運営に反映させ、地域に開かれた学校づくりを進めます。

事業名	予算
○ 小・中一貫教育基本計画の検討	300千円
○ 学校図書館巡回司書の配置	1,472千円
○ 特別支援教育モデル事業の実施	140千円
○ 中学校職場体験授業の全校実施	121千円
☆ 特色ある学校づくり交付金の交付	10,000千円
☆ 部活動外部指導者の活用	3,700千円
☆ 学習サポーターの配置	5,880千円



中学校職場体験

3

人と文化を育てる生涯学習の推進

市民だれもがいつでも学習・文化活動をすることができるよう生涯学習センターの運営を行うとともに、市民が世代を超えて学びあい、学習を通じて豊かな心と文化をはぐくむ生涯学習によるまちづくりを推進します。



生涯学習センターゆとろぎ

事業名	予算
◎ 生涯学習センターゆとろぎの管理運営	179,530千円
◎ 芸術鑑賞事業の実施	20,000千円
◎ 市民協働組織への助成	14,746千円
◎ 子育て支援図書コーナーの設置	1,568千円

4

生涯スポーツ社会の実現

市民が、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーションを楽しめる「生涯スポーツ社会」の実現に向けて、年齢や体力などに応じた各種スポーツ事業やレクリエーション事業などを充実します。また、運動を通じた健康づくりの重点的施策としてウォーキング事業の充実を図ります。



多摩川スリーデイウォーク

事業名	予算
☆ 健康づくり教室(運動ダイエット)の実施	134千円
☆ 多摩川スリーデイウォークの実施	251千円

5

その他

事業名	予算
◎ 羽村第二中学校防音機能復旧工事	276,289千円
◎ 小・中学校への防犯カメラの設置	15,000千円
◎ スイミングセンター指定管理者制度の導入	78,412千円
◎ コンピュータ機器等の整備(一中・二中)	34,000千円
◎ 市指定文化財への補助 (祭囃子・八雲神社山車修理)	3,122千円



コンピュータ機器の整備

《記号の見かた》 ◎…新規事業
○…レベルアップ事業
☆…重点施策推進事業

特色ある学校づくりを進めています

羽村市教育委員会では、各学校の独自性を生かした特色ある教育活動の推進を図り、学校教育の活性化を図ることを目的とした、「特色ある学校づくり交付金事業」を、平成16年度に創設しました。

「特色ある学校づくり」を推進させ、子どもや地域の実態を踏まえた教育活動を展開するため、今回は、小学校7校が実施した平成17年度の事業をご報告します。

小学校編

羽村東小学校

地域・保護者・学校が一体となった教育活動を展開

本校では、「地域に学び・地域に生きる、子どもが伸びる元気な学校」を目指しています。一人ひとりの子どもたちに確かな学力、生きる力を身につけさせたい。明るく元気いっぱいに遊んでほしい。その中から友だちを思いやったり、助け合ったり、いろいろな体験を積んでほしいと願っています。

夏休み中のサマーセカンドスクール、秋の東小地域フェスティバル、子どもたちの安全を守るためのパトロールなど、地域・保護者・学校が一体となって教育活動を展開しています。



東小地域フェスティバル

羽村西小学校

子どもの情報活用能力と情報モラルを鍛えています

本校では、学校全体でコンピュータ操作習熟段階表に基づいた系統的な指導を行っています。企業と連携してメールの問題点を知り、送られてきても止める判断力と態度を養う情報モラル授業を実施しました。また、電子掲示板の特性に気づき、今後、正しく利用する授業を実施しました。ネットには危険な情報があり、情報の善悪に対して適切な対応が取れる授業を実施しました。

あふれる情報の中で、情報の中身を自分で判断できる能力を育てています。



自ら考え進んで学習

富士見小学校

「アンデスからの贈りもの」 フォルクローレ・コンサート

現在、本校には、日系ペルー人の子どもたちを中心に、南米スペイン語圏の児童が19名在学しています。その特色を生かし、多様な文化に対する理解を深める国際理解教育を推進しています。

また、本校のもう一つの特色である「音楽教育」を生かすために、南米ペルーの民族音楽バンドを招き、生演奏を聴きました。

体育館中に、ケーニャ、サンポーニャ、チャランゴの素晴らしい音色が響き、アンデスの山々と風を感じました。ペルーの素晴らしい文化に触れる貴重な体験になりました。



出演バンド:WI NAY(ウィニヤイ)ペルー人4人組

栄小学校

2学期制の良さを活かしながら、 特色ある学校づくりを進めています

「英語活動」を1、2年生は年間20時間、3～6年生では35時間実施しました。地域人材の講師とALT [Assistant Language Teacher(外国語指導助手)]、そして学級担任が連携して授業を展開しています。この様子は1月のテレビはむらで紹介されました。

その他にも青少年対策地区委員会の方をはじめ多くの保護者、地域の方と米作りをする農業体験活動、様々な分野の専門家とふれあう「あこがれ・夢広場」、児童の安全確保のための「なかよしパトロール」等、地域と一体となった活動を行いました。(※テレビはむらのビデオは図書館等で貸出をしています。)



1年生の英語活動(先生は地域人材の方です。)

松林小学校

感性を豊かにする様々な人たちや 文化との出会いと感動体験

松林小の特色ある学校づくりは①美しい学校づくり、②夏休みセカンドスクール、③様々な交流活動が3本柱です。③の数ある活動の一つを紹介します。地域の芸術家の作品を教室に展示する「学校美術館」。6年生はこの出品者の中から一人を招き、総合の時間にアーティストとの交流を行いました。今年は小林直子先生の指導で、自然の木の枝に毛糸を巻きつけ美しいフェルトづくりをしました。1本1本が芸術作品ですが、全部をテグスに吊るして展示すると、美しく不思議な空間ができました。様々な人々や文化との出会いと感動体験が子どもたちの感性を豊かにします。



アーティスト交流

小作台小学校

「地域の人から学ぼう」をテーマに
学ぶ力、思考力、創造力の向上を目指す

授業での各教科等の学習、「夏にトライ・冬にトライ」の夏季・冬季の体験学習や教科学習、和太鼓クラブでの指導、農業、書写、マラソン指導の講師として多くの地域の方々にかかわっていただいている。

様々な経験や特技をお持ちの方たちとの豊かなかかわりを通して、子どもたちは、学ぶ力や思考力や創造力など様々な力を伸ばしています。



書写指導

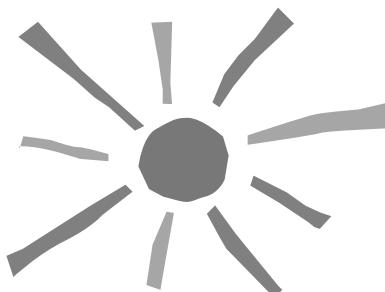
武蔵野小学校

「夢を抱き共に歩める児童の育成」を
目指し、“キャリア教育”を推進

「キャリア教育」の推進校として「夢を抱き共に歩める児童の育成」をテーマに研究を深めました。日ごろから子どもたちの自立心・忍耐力・社会性等を育てたいと願っていた各教師は、本研究を通して方向性が明確になり、学校全体で一丸となっての指導ができるようになりました。中学生による英語、算数の授業や縦割り班活動など、子どもたちは教育活動全体を通して人とかかわり、以前にも増して自信を抱き、自分の担う役割についても考えるようになりました。「キャリア教育」で生きる力を育んでいます。



羽村三中生徒による、本校3年生への訪問指導（英語）



- ・ 各校では、それぞれの地域性を生かした特色ある
- ・ 学校づくりを今後も進めています。地域の皆さん
- ・ のご理解とご協力をお願いします。
- ・ 中学校編は、次回7月号でご紹介します。

問合せ 指導室